

平成30年中の救急取扱状況について

平成30年中の救急車が出場した件数は、3,394件で前年より179件増加しました。

これを1か月当たりには約282件、1日当たりには約9件となります。

搬送人員は、3,168人で前年より168人増加となり、市民の約18人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。上位を占めているものは、急病2,074人、一般負傷587人、転院搬送272人、交通事故177人となっています。

また、搬送人員を傷病程度別で見ると、軽症1,133人（36%）、中等症1,757人（55%）、重症239人（8%）、死亡39人（1%）と、軽症者及び中等症者が高い比率となっています。

一方、65歳以上の搬送人員2,146人のうち、入院治療を必要とする中等症以上の者は、1,519人（70%）となっています。

搬送先別では、市内医療機関への搬送が95人（3%）に対し、市外医療機関への搬送は3,073人（97%）となっており、当然ながら1件の救急出場に要する時間は長くなっています。

このため、消防本部では、本当に救急車を必要とする救急患者の利用を妨げないように、緊急性のない場合などは、救急車を利用しないよう市民一人ひとりに協力と理解を周知するとともに、市民に対する普通救命講習等の応急手当の普及活動を実施し、なお一層の効果的で円滑な救急業務を目指してまいります。

救 急 出 場 状 況

種別 区分		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計	
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の		
出場 件数	本 署	1		1	94	2	6	252	7	5	980	159	142	1,507
	小坪分署			1	38	3	3	146	2	7	426	73	65	699
	北 分 署	5		1	58	7	17	222	2	1	787	88	66	1,188
	合 計	6		3	190	12	26	620	11	13	2,193	320	273	3,394
搬送 人員	本 署	1			91	2	6	235	6	2	936	141	141	1,420
	小坪分署			1	36	3	3	141	2	5	403	65	65	659
	北 分 署	1			50	7	17	211	2		735	66	66	1,089
	合 計	2		1	177	12	26	587	10	7	2,074	272	272	3,168

(注) 応援救急28件を含んでいます。